四日市南警察署協議会議事録

令和4年度第3回四日市南警察署協議会	
日 時場 所	令和5年2月20日(月)午前10時~午前11時30分 四日市南警察署5階多目的ホール
出席者	 警察署協議会委員 13名 上野山貴久委員、後藤敦子委員、高山クレオニセ委員、 多湖芳一委員、田中徹委員、中山円委員、野呂三紀子委員、 長谷茂則委員、宮崎由太委員、山中博之委員、山本智佳委員 山本浩之委員、渡辺博史委員 警察署 14名 署長、副署長、事件指導官、会計課長、警務課長、 留置管理課長、生活安全課長、地域課長、地域課主幹、 刑事第一課長、刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、 警備課長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開

議事概要

- 1 警察署長挨拶
- 2 会長挨拶
- 3 特殊詐欺被害防止の寸劇披露
 - (1) 預貯金詐欺被害の想定
 - (2) 還付金詐欺被害の想定
- 4 協議内容
 - (1) 特殊詐欺被疑者を検挙した場合の被害回復について

<委員> 特殊詐欺の被疑者が検挙された際、被害者が騙し取られた お金は戻ってくるのか。

【署長】 極めて希だが、被疑者が量刑を軽くするため、お金を返還 した事例がある。

また、被害者が犯行の首謀者に返還を求めて民事訴訟を起こし、勝訴して返還される場合もある。

(2) 各種会合等における特殊詐欺被害防止の寸劇の活用について <委員> 特殊詐欺被害防止の寸劇は、大変分かりやすかった。 普段はどのような場で披露しているのか。

【生活安全課長】 コロナ渦で寸劇の実施は難しいため、DVDを作成して各自治会等に配付し、被害防止に努めており、好評を得ている。

詐欺の手口は変化が早く、発生状況に応じたタイムリーなDVDを作成したいと考えている。

(3) 警察官が来訪した際の身分確認方法について

<委員> 昼間、警察官が自宅に来訪して特殊詐欺被害防止の広報を 行っているようだが、自宅に一人で居る時に玄関ドアを開け ることが怖いと感じており、本物の警察官であるとどのよう に確認したらよいのか。

【生活安全課長】 警察官であることが分かるよう、制服を着用して 訪問している。

それでも不安な場合は、来訪職員の所属や氏名を聞いて警察署に確認していただきたい。

- 【署長】 警察官が私服で捜査に赴く場合もあるため、警察手帳を確認していただきたい。
- (4) 特殊詐欺被害防止対策について

<委員> 今日の寸劇のように、詐欺の被害を防止するために、常時留守番電話設定にすることもよいが、いつも留守だと思われ、空き巣に入られないか不安である。

【署長】 詐欺の手口について知識がある方でも騙されている。

被害に遭わないためには、犯人と会話をしないことが重要であり、そのために一番有効なのは、自動通話録音警告機の活用である。

特に、高齢者のお宅に警告機を付けることは効果的であり、 警告機を付けた方からは、勧誘の電話が無くなったとの声も ある。

四日市市が来年度の予算で、警告機200台分の補助金を予算申請しており、現在、市議会の承認待ちだと聞いている。

本来は、警告機を付けることが望ましいが、当面の間は犯人と会話をしないためにも留守番電話設定機能を活用してもらいたい。

特殊詐欺の被害者の8割が犯人による固定電話への電話により被害に遭っているので固定電話に対する対策が被害防止において最も重要である。

- 5 感謝状贈呈
- 6 署長謝辞

備考なし